

from the sound / to the sound 展

Mon. February 9 - Fri. February 20. at clas (Nagoya University)

トーク&PARTY : Wed. February 18. from 18:00 at class

2008年11月、名古屋大学大学院国際言語文化研究科先端文化論講座と愛知県立芸術大学音楽学部音楽学コースによる大学間連携講座「現代日本の音を求めて：シンポジウムとパフォーマンスの2日間 作曲家・下山一二三を迎えて」が開催されました。名古屋大学で開催された第1日には、シンポジウムに続いて、下山一二三のバスクラリネットのための「インプロヴァイザー」が、菊地秀夫（バスクラリネットによって世界初演されました。そして、愛知県立芸術大学に場所を移した第2日に行われたパフォーマンスでは、徳岡めぐみのオルガン演奏による、下山一二三の〈オルガンのための「情景」〉が2回続けて演奏され、その間に、愛知県立芸術大学美術学部の6人の学生が、そのサウンドのイメージをライブ・ドローイングで100号のキャンバスに描きました。この展覧会は、そのパフォーマンスのドキュメントを展示するものです。パフォーマンスの様子を撮影したビデオ作品（愛知県立芸術大学美術学部デザイン専攻：福田広樹、高木絢子、辻井早紀による）も放映され、〈オルガンのための「情景」〉もお聴きいただけます。

第2日：To the Sound プログラム

2008年11月29日(土) 14:00~ 愛知県立芸術大学 奏楽堂

演奏

下山一二三：オルガンと打楽器のための「情景第2番」（1999）
（オルガン）徳岡 めぐみ （打楽器）池永 健二

演奏+絵画制作

下山一二三：オルガンのための「情景」（1983）
（オルガン独奏）徳岡 めぐみ



絵画制作：木全佑輔・鈴木智教・吉松憲弘・井本由加・大石未貴中川杏美（愛知県立芸術大学美術学部油画専攻2年生有志）



下山一二三 Hifumi SHIMOYAMA

1930年、弘前市青女子（あおなご）生まれ。

「リフレクション」、「エキソルシズム」、「息」の3作がISCM（国際現代音楽協会）イタリア支部主催の第6回作曲コンクールに同時入選。「打楽器とコントラバスのためのトランズマイグレーション」、「彩響」、「チェロ協奏曲」で文化庁芸術祭優秀賞、NHKの委嘱による音楽詩劇「ハレー彗星」でイタリア賞国際コンクール 特別賞ジャン・フランコ・ザフラーニ賞を受賞。また「風紋II」、「一期の月影」ほか多数の作品がISCM主催World Music Daysに入選している。



徳岡 めぐみ Megumi TOKUOKA

東京藝術大学音楽学部オルガン科卒業、同大学院音楽研究科修了。安宅賞受賞。ドイツ国立ハンブルク音楽大学卒業。オルガンを植田義子、廣野嗣雄、ヴォルフガング・ツェラーの各氏に師事。2001年オランダのアルクマールのシュニッダー国際オルガンコンクール優勝、聴衆者賞獲得。2002年、北ドイツ放送（NDR）音楽賞国際オルガンコンクール2位受賞。ヨーロッパ各地でコンサートを行う。現在、豊田市コンサートホール専属オルガニスト、東京藝術大学非常勤講師、愛知県立芸術大学非常勤講師、国際基督教大学オルガニスト、片倉キリストの教会オルガニスト。

大学間連携事業プログラム：現代日本の音を求めて シンポジウムとパフォーマンスの2日間～作曲家 下山一二三を迎えて～
From the Sound To the Sound

主催：名古屋大学大学院国際文化言語文化研究科先端文化論講座 | 愛知県立芸術大学音楽学部音楽学コース

この事業は『愛芸アシスト』と日本学術振興会の支援を受けて実現しました。